

桜の開花は例年より遅れたものの、日本では多くの地域で綺麗な桜が見られます。桜の花言葉は「精神美」「優美な女性」「純潔」。「精神美」は日本人の心の純粋さ美しさを指した言葉とされています。心の純粋さ美しさは、美德にも通じ、それはすなわち人権意識とも言えます。人を思う心、人を大切に  
する気持ち、日本人の「美しい心=人権意識」は、桜が散れど、いつでも変わらず心の中に咲かせ続けたいものです。



## 山梨県の新たな教育振興基本計画について

山梨県における今後の教育施策の基本となる「山梨県教育振興基本計画」(令和6年度～10年度)が今年3月末に策定されました。(※1)その「基本理念」は、「主体的に学び 他者と協働し 豊かな未来を拓く やまなしの人づくり ～誰もが教育の機会にアクセスできるやまなし～」です。(P23～24) その3つのキーワードの考え方として、

- ①主体的に学ぶ⇒誰もが希望を持ち、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、判断しながら行動・探究し、それぞれに思い描く幸福といったウェルビーイングの実現に向けて学び続ける姿を目指します。等
- ②他者と協働する⇒誰もが尊厳のある個人として尊重され、多様性を認め合いながら、夢や希望の実現に邁進する姿を目指します。等
- ③豊かな未来を拓く⇒子供たち一人一人の幸福といったウェルビーイング(身体的・精神的・社会的に良い状態にあること)が、家庭や地域、社会のウェルビーイングへと広がっていき、その広がりが多様な個人を支え、将来にわたって世代を超えて循環していく姿を目指します。等 が示されています。

この計画では、政府が令和5年6月に閣議決定した新たな教育振興基本計画(※2)の趣旨も踏まえつつ、本県の新たな教育ビジョンが随所に示されています。ここでは、今後の教育の充実に特に大切ではないかと思う施策の一部を抜粋してご紹介したいと思います。

「第5章 施策の具体的方向性」(P27～78)より

【個別最適な学び、協働的な学びの一体的な充実】(P27)

- ・各教科等の特質に応じた学習を推進しながら、多様な他者と協働することの重要性などを実感することができるように努めます。
- ・学校の授業に、子供が学習状況を自分で判断して学習を進める「自由進度学習」などを導入しながら、従来の一斉授業による「教師主導の授業」から、「子供主体の授業」への授業観の転換を進めます。

【問題発見・解決能力の育成】(P27)

- ・各教科等において問題の発見・解決に必要な力を身に付けられるよう、教育課程の実施上の工夫を行います。

(成果指標)

- ・全国学力・学習状況調査の質問紙調査において、課題解決に向けて自分から取り組んでいると肯定的に回答した児童生徒の割合(2022年：81.6%⇒2028年の目標値：90.0%)

【地域による教育支援の充実】(P64)

- ・多様な人材の参画による教育支援活動が積極的に行われるよう、地域と学校の連携・協働の下、地域学校協働活動を推進します。

(成果指標)

- ・コミュニティ・スクールを導入した小・中学校の割合(2022年度：31.9%⇒2028年度目標値：80.0%)
- ・地域学校協働活動推進員等が配置されている学校の割合(小・中・県立学校)(2022年度：4.6%⇒2028年度目標値：60.0%)

本県の教育施策に関心のある方は、できれば、この計画の全編をご一覽することをお勧めします。して、子供の教育は学校だけでなく、地域ぐるみで関わるような実践活動が一層充実していくことを期待します。



(※1) 山梨県教育大綱(教育振興基本計画)(令和6年度～10年度)  
[https://www.ypec.ed.jp/?page\\_id=1378](https://www.ypec.ed.jp/?page_id=1378)  
※山梨県総合教育センター(山梨県教育関係施策より)



(※2) 文部科学省「教育振興基本計画」(令和5年6月・閣議決定)  
[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/keikaku/](https://www.mext.go.jp/a_menu/keikaku/)

人権移動教室の授業を受けた子供たちの感想文が、裏面にてご覧いただけます。



国連 NGO 横浜国際人権センター山梨ランチ  
特定非営利活動法人横浜国際人権センター山梨

会長：横山隆史

〒400-0031 山梨県甲府市上町 601-4 甲府市環境センター内 なでしこ工房 1 階事務室  
TEL. 055-243-8563 FAX. 055-243-8564 <http://yamanashi.yihrc.or.jp/> E-mail. [yamanashi@yihrc.or.jp](mailto:yamanashi@yihrc.or.jp)

<協賛>  
山梨県  
甲府市  
甲斐市

協賛企業：(株)成心設備、西関東開発(株)、(株)ウィルマート、(株)R&C、(株)フジコー、(株)渡辺工業所、甲府市管工事協同組合、(株)とちの木

人権移動教室に参加した子どもたちの感想文をご紹介します。

甲府市市立国母小学校 (六年生女子)

ひとりひとりの人権  
 甲府市立国母小学校  
 ぼくは、人権教育講演会で人権のことを知り、人生についてもっと知れました。  
 人権とは、生きたい、幸せになりたいという願いを追求する権利です。しかし、そんな人権が、なくなってしまうことがあります。それは、災害や戦争です。幸せを求めているのに、幸せになれず生きれもしないときがあります。その中で、ぼくが注目したのは、戦争です。なぜなら、人が人権をうばうからです。幸せになりたい人の幸せをうばうなんて、最低だと思いました。そして、いじめも同じだと思っています。いじめられた相手は、死にたいと思います。うばうかもしれません。生きたいという願望をうばうかもしれません。  
 このように、人権は、身近にあり、小さなところからあります。人権のある世界は、せつなくも、人権のある人生は美しいのです。

甲斐市立双葉小学校 (六年生女子)

ぼくは、人権教室を受ける前は人権ってなんだろうかと思ってきました。でもこの授業を受けて人権は、人を助ける勇気が大事ということを知りました。  
 ぼくが赤ちゃんのころ飛行機に乗ったときのことです。お母さんのひざの上でねむくて泣いていました。するとなりのおばさんが席をゆずってくれました。するとぼくは、赤ちゃんだったから知らなかったけど、今日、人権教室で学んだあとに家に帰ってお母さんからゆずってくれた話を聞きました。この話を聞いて本当にありがたかったです。  
 これから、この人権の学習をとおしてゆずってくれたおばさんみたいに、勇気を持ってゆずったりできる人になりたいです。そのため、これから学校や学校以外でも自分のことだけを考えるのではなく、みんなのことも考えて行動したいです。さらに電車やバスなどいっしょに歩いたりしたいです。さらに一回だけではなく何回もゆずってクセをつけたいです。